HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	シンポジウム Ⅰ：諸外国における社会保障改革 ： 福祉レジームの新しいかたち
Citation	年報 公共政策学, 7, 3-3
Issue Date	2013-05-17
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/53337
Type	other
File Information	APPS7_002.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

シンポジウムⅠ：
諸外国における社会保障改革
－福祉レジームの新しいかたち－

我が国においては、国民が安心で希望と誇りが持てる社会の実現を目指して、社会保障と税の一体改革が進められようとしている。この改革では、社会保障の機能の強化を図ることと併せて、その安定財源の確保が重要な課題となっている。社会経済情勢の変化に対応して、財源の見直しを含めた社会保障制度の改革を行うことは、他の先進諸国においても重要な政策課題となっており、様々な取組みが行われている。

このような状況を踏まえ、諸外国における改革について検討することを通じて、福祉レジームの新しいかたちを展望することを目的として、北海道大学公共政策大学院と科学研究費基盤研究（A）「日本型福祉・雇用レジームの転換をめぐる集団政治分析」（研究代表者　宮本太郎）との主催により、2012年11月17日に「諸外国における社会保障改革－福祉レジームの新しいかたち－」をテーマとするシンポジウムを開催した。

以下、このシンポジウムにおける報告及びパネルディスカッション（コメント・討議）の概要を掲載する。

・報告 ……………………………………………………………… P. 4

スウェーデン　宮本　太郎　（北海道大学大学院法学研究科教授）
イギリス　一圓　光彌　（関西大学政策創造学部教授）
フランス　加藤　智章　（北海道大学大学院法学研究科教授）
ドイツ　松本　勝明　（北海道大学公共政策大学院教授）

・パネルディスカッション ……………………………………… P.26

コメント　土田　武史　（早稲田大学商学部教授）
討　議

司会：佐藤　雅代　（関西大学経済学部教授・HOPS 研究センター研究員）

（注）文中、カッコ内の■はパワーポイントの該当スライドの標題